



乗客を迎える伊香保温泉のおかみさんたちの記念写真

今年7月1日、上越線渋川駅が開業してから100年を迎えました。7月3日に行われた100周年記念イベントでは、臨時運行された蒸気機関車のD51を伊香保温泉のおかみさんたちがホームで出迎

こんにちは!!  
市長です

Vol.45

「渋川駅100周年」

えてくれ、私も駅長服を着て出発式を行いました。  
渋川駅は、伊香保温泉の玄関口として、また、水力発電による内陸型工業都市の貨物の拠点として、渋川市の発展とともに歩んできました。  
駅の思い出は、皆さんにもたくさんあると思います。100周年を記念して、本庁舎の市民ホールで開催した企画展には、駅にまつわる数多くの思い出が寄せられました。  
「58年前に父親の仕事の都合で、福島県から一家6人で渋川に来ました。渋川駅は家族の出発点でした」というエピソードや、在りし日の駅の姿を撮影した写真などが展示されました。私も、学生時代に渋川駅から上京した時に、駅で食べた立ち食いそばの味が忘れられません。  
かつては、渋川駅から上野駅まで、直通列車が走っていました。今は、新幹線が開業し、高崎駅で乗り換えて、以前よりも早く東京へ行くことができますようになりました。  
鉄道の楽しみは、「乗り鉄」、「撮り鉄」などさまざま。全国に網の目のようにつながる在来線の魅力はたくさんあります。  
早く遠くへの時代から、ゆつくりとのんびりと鉄道の旅を楽しんでみたいものです。

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館(☎3215)

美術の小窓

●市美術館は移転します

市美術館は、今年度末(令和4年3月31日(木))をもって休館し、現在の場所から移転することが決定しました。移転先は市役所第二庁舎の予定です。

●市民ギャラリーの利用者を再募集します

申込みは8月7日(土)からの先着順となります。

詳しくは、市美術館にお問い合わせください。

【再募集する期間】

- ①10月27日(水)～11月1日(月)
- ②11月3日(祝)～8日(月)
- ③11月17日(水)～22日(月)
- ④11月23日(祝)～29日(月)
- ※11月24日(水)は休館
- ⑤12月1日(水)～6日(月)
- ⑥12月8日(水)～13日(月)
- ⑦12月15日(水)～20日(月)



●イベントカレンダー

会場	展示内容	期日	観覧料
常設展示室	常設展・前期 桑原巨守彫刻作品	8月2日(月)まで	200円
	常設展・後期 桑原巨守彫刻作品	8月4日(水)～ 11月23日(祝)	

■開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

※観覧料は、65歳以上・中学生以下は無料

●8月の休館日 3日(火)、10日(火)、17日(火)、24日(火)、31日(火)

7世紀代には豪族たちが先進的な思想である仏教を積極的に取り入れ、中央でも地方でも多くの寺院が建立されました。8世紀中頃には全国に国分寺・国分尼寺が造られ、国家の保護のもと仏教の普及が本格化します。地方の一般の集落へも、仏教が浸透していくようになります。

赤城地区の三原田諏訪上遺跡では、9世紀頃の瓦塔や瓦堂が出土しています。瓦塔・瓦堂とは、粘土で寺院の塔や堂をかたどった模型で、瓦のように窯で焼き上げます。この遺跡では、小さな仏堂を建て、そこに瓦塔や瓦堂を安置して拝んでいたと推定されます。

やがて伊香保地区の山中には山岳寺院である水澤廃寺が出現し、11世紀以降には有馬茶里遺跡や有馬遺跡で、手のひらサイズの金銅仏が出土するなど、仏教信仰の広がりがうかがえます。



三原田諏訪上遺跡出土の瓦塔(左)と瓦堂(右)

古を訪ねて ④ 広がりゆく仏教